

JFM だより

Vol. 15

※JFMとは、
Japan
Finance Organization
for Municipalitiesの略称です。



INDEX

- JFMトピックス … P1
- JFM債のご紹介 … P3
- 融資の実 静岡県菊川市 菊川市消防本部 … P5
- がんばる公営競技 ボートレース大村 … P7
- 地方支援ダイアリー … P9
- 自治体ファイナンスよもやま話 … P11
- 基金運用ひとくちメモ … P13
- JFM人事交流日記 … P14
- JFMからのお知らせ … P15

今号の表紙

静岡県菊川市 菊川市消防本部

地方の、地方による、地方のための



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



訓練風景



訓練風景



庁舎外観



Feature1

静岡県菊川市 菊川市消防本部

東海地震を見据えた、地域の防災拠点として

近年、業務が高度化する「消防」。平成26年3月に完成した庁舎は、従来の消防本部・消防署という機能はもちろん、大規模災害時における拠点としての機能も備えています。新たな施設により、訓練の充実や職員のモチベーション向上を実現。菊川市消防本部は、大きな視野で地域の安全・安心を見据え、日々の任務にあたっています。

大規模災害時には緊急消防援助隊の活動拠点にも

静

岡県の中西部に位置し、東側に日本一のお茶どころ牧之原台地を擁する温暖な気候に恵まれた菊川市は、平成17年に小笠町と菊川町が合併して誕生しました。

菊川市の消防は、それまでの小笠地区消防組合から菊川市消防本部により行われることとなり、組合消防の時代から使用されてきた庁舎は老朽



菊川市マスコットキャラクター

きくのん

化が進んでいたため、広い敷地への新庁舎建設が進められました。

「消防業務は、火災を消火したり、病人やけが人を病院へ搬送するだけでなく、近年の災害は、大規模・複雑化し消防任務の幅が広がってきています。今の時代にあった消防庁舎が必要という考えがありました。」(菊川市消防本部警防課 大柳正徳係長/「」内のコメント以下同)

平成26年3月に完成した菊川市消防本部の新庁舎の大きな特徴は、地域の「防災拠点」としても位置づけられ、そうした施設・設備が充実していることです。東海地震などの大地震を見据え、建築基準法で必要とされる基準の約1.5倍の耐震強度を確保。消防本部・消防署としての機能はもちろん、緊急消防援助隊の活動拠点にもなります。また、防災倉庫等を備え、緊急物資の流通配給拠点等にも活用されます。



ヘリポートも装備

敷地内のヘリポートは、緊急時、防災ヘリコプターやドクターヘリコプターの離着陸に使用されますが、平時は、消防訓練や、消防出初式、消防団査閲大会に使用されています。

庁舎内にも工夫がなされ、緊急消防援助隊を受け入れる空間が設けられる等、消防と防災が連携して活用できる施設になっています。

広くなった庁舎を活かし、地域に貢献

「新しい設備が職員に多くのメリットを与えており、それによりいっそう地域の防災に貢献できています。」

例えば、119番通報が入電するとすぐに発信元を検索し、30秒以内に出勤準備指令を発令。素早く消火活動や救急活動に対応できるようになっています。

菊川市消防本部では、平成26年度から新たな試み「夏休み!わくわく消防体験プログラム」を実施。

「庁舎が広くなり、新たな活用方法として、夏休みに子どもたちを集めて、消防車に触れたり、災害について学んでもらい防災の意識を高めてもらうためのイベントです。」

平成26年度は、約130名の幼児、小・中学生が参加。消防車乗車体験、送水体験をはじめ、救急法や防災講座など多彩なプログラムが好評で、毎年定例的に行っていく予定です。



夏休み!わくわく消防体験プログラム

職員のさらなる能力向上を目指して

新たな庁舎には、個室型の仮眠室やゆとりあるシャワー室、トレーニングルームを完備。職員の健康維持、管理に役立っています。また訓練棟は、実際に訓練をする職員のアイデアを活かして設計されており、より現場に則した幅広い訓練を行えることが特徴。技術やモチベーションの向上に役立っています。その他、地下に約150トンの雨水を貯められる貯水槽を設け、放水訓練やトイレの洗浄水などの生活水に活用。使用した水の一部は再び貯水槽に戻るよう工夫されています。



訓練棟

「菊川市消防本部は現在17人の救急救命士がおりますが、今後はさらに育成に力を入れていきたいと考えています。」

消防任務において傷病人の初期処置は重要であり、菊川市消防本部では現在、救急車1台に1人ないし2人の救急救命士が同乗し、任務に当たっています。

菊川市消防本部は、先進の施設・設備を活かし、職員のスキルアップとともに消防・防災の最前線として、地域の安心・安全を守っています。